

## 血管性痴呆におけるZhiling煎じ薬(Draft翻訳\*)

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

最終改訂年月 : 25 June 2004

**背景:** Zhiling煎じ薬は、15種類の漢方薬を組み合わせで製造される。Zhiling煎じ薬から、脳血管の拡張と脳血流の増加ならびに血清中コレステロール低下という効果が得られるのではないかとの治療上の理論的根拠として、各漢方薬の特性および組み合わせによってもたらされる特性が挙げられる。そこで本レビューは、血管性痴呆の治療におけるZhiling煎じ薬の有効性と安全性について評価することを目的として実施した。

**目的:** 血管性痴呆におけるZhiling煎じ薬の有効性と安全性について評価すること。

**検索戦略:** Zhilingの検索語を用い、2004年1月2日にSpecialized Register of the Cochrane Dementia and Cognitive Improvement Groupを検索した。本登録には、全ての主要な医学データベースおよび継続中である多くの試験データベースから得られた記録が含まれており、定期的に更新されている。また、レビューアは83のChinese Traditional Medical Journal(1993年~2003年)をハンドサーチした。

**選択基準:** 血管性痴呆患者を対象として、Zhiling煎じ薬とプラセボが比較されたランダム化試験。

**データ収集分析:** 2名のレビューアが独立して試験の質を評価するとともに、データを抽出した。試験の著者らと接触し、追加情報を求めた。可能な限り、各試験から有害作用情報を採集した。

**主な結果:** 本分野では適切なランダム化プラセボ対照試験が行われていなかったため、メタアナリシスを実施することはできなかった。

**レビューア見解:** 現在のところ、血管性痴呆の治療におけるZhiling煎じ薬の可能性について評価できるほどのエビデンスはない。Naofukangとの比較で見たZhiling煎じ薬による管理についてわずかな客観的データが得られており、Zhiling煎じ薬は血管性痴呆の治療に有効であろうと示唆されている。血管性痴呆の治療として、Zhilingが有効または無効であるとのエビデンスはない。血管性痴呆におけるZhilingの相対的な有効性と容認性について定義するため、さらなるランダム化二重盲検プラセボ対照試験を実施することが早急に必要とされている。

**Citation:** Jirong Y, Xiaoyan Y, Taixiang W, Defen S, Birong D. Zhiling decoction for vascular dementia. The Cochrane Database of Systematic Reviews 2004, Issue 4. Art. No.: CD004670. DOI: 10.1002/14651858.CD004670.pub2.

**Clib issue No.:** 2005 issue 4

**CRG名:** Dementia and Cognitive Improvement

\* **ご注意:** この日本語訳は、試験的翻訳(Draft翻訳)版として公開するものであり、翻訳の正確さや質が保証されたものではありません。訳語の間違いなどお気づきの点がございましたら、Minds事務局までご連絡下さい。また、この試験的翻訳版はコクラン・ライブラリ2005年issue 4に掲載されたレビュー・アブストラクトの翻訳です。コクラン・ライブラリは年4回改定版が発行されていますので、ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認下さい。